

第7回「新NISAってなに？どう使うの？～活用事例～」

三菱UFJ信託銀行 菅谷 和宏

<新NISAってなに？>

2014年にスタートした、**Nippon Individual Savings Account**「少額投資非課税制度」の愛称で、本来であれば課税される「運用益」と「売却益」が非課税となる制度です。

今までのNISAは時限的な制度でしたが、国民の資産形成を後押しするため、**2024年1月から恒久的な制度として「新NISA」がスタートしました。**

<新NISAのメリットは？> ◆1,800万円まで非課税枠が大幅に拡大！◆

今まで「一般NISA」と「つみたてNISA」があり、どちらか一方のみ使用可能でしたが、新NISAでは、「成長投資枠」と「つみたて投資枠」の2種類の制度を利用することができます。また、年間非課税枠が120万円（一般NISA）から、3倍の360万円（成長投資枠とつみたて投資枠を利用）に拡大し、最大非課税枠も800万円から、2倍超の1800万円に大幅に拡大し、いわゆる老後資産2,000万円を目指した資産形成が可能です。

←NISAキャラクターの「つみたてワニーサ」くん

| | 従来のNISA | | 新NISA | |
|--------|---------|----------|-----------------------|---------|
| | 一般NISA | つみたてNISA | 成長投資枠 | つみたて投資枠 |
| 年間非課税枠 | 120万円 | 40万円 | 240万円 | 120万円 |
| 最大投資枠 | 600万円 | 800万円 | 1800万円(うち成長投資枠1200万円) | |
| 非課税期間 | 5年間 | 20年間 | 無期限 | |

どちらかを選択（併用不可） 成長投資枠とつみたて投資枠の併用可

<新NISAはどう使うの？> ◆初心者が安心して投資できる商品がラインナップ！◆

「つみたて投資枠」の商品は、長期の積立・分散投資に適し、信託報酬（手数料）が一定水準以下等の金融庁の一定基準を満たした投資信託のみとされ、初心者でも安心して投資ができる商品がラインナップされています。一方、「成長投資枠」では、自分で選んで個別の上場株式や債券、投資信託に投資が可能ですが、毎月分配型やデリバティブを用いた複雑な仕組みの投資信託は除外されます。

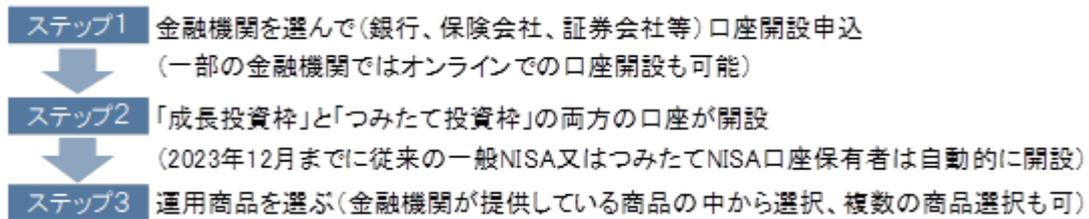
←NISAキャラクターの「つみたてワニーサ」くん

| 投資対象商品 | 新NISA | |
|--------|-------------------|-----------------------------------|
| | 成長投資枠 | つみたて投資枠 |
| | 上場株式 投資信託等(※1) | 長期の積立・分散投資に適した 金融庁の基準を満たした投資信託 |

※1 整理・監理銘柄、信託期間20年未満、毎月分配型、デリバティブ取引を用いた投資信託を除く

<新 NISA の口座開設方法は？> ◆従来の NISA 口座保有者は自動的に口座が開設！◆

従来の「一般 NISA」又は「つみたて NISA」の口座保有者には、自動的に「成長投資枠」と「つみたて投資枠」の 2 種類の口座が開設されますので手続きは不要です。今まで口座を保有していなかった方は、金融機関で新 NISA の口座を開設できます。



<～新 NISA の活用事例～> ◆自分の「リスク許容度」を考えよう！◆

自分の年齢や他の資産（預貯金等）の保有状況等により、どの程度のリスクがとれるか（これを「リスク許容度」と言います）を考えます。一般的に、年齢が若く給与収入が見込まれる方は相応にリスクを取れるため、株式を中心とした商品選定が可能です。また、ある程度の預貯金を保有している方も、株式を中心とした商品選定が可能と考えます。

なお、自分で判断が難しい場合は「バランス型」の商品選択をすることが考えられます。



○NISA 特設ウェブサイト（金融庁 HP）

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/index.html>